



令和6年度 甲府市立里垣小学校

令和6年9月30日
発行 第5号



さとがき

里垣小学校だより
甲府市立里垣小学校
校長 保坂 茂

【学校教育目標】かしこく、なかよく、たくましい子どもの育成

里垣小学校ホームページ <http://www.satogaki-e.kofu-ymn.ed.jp/>

一人一実践、本校職員も頑張っています



里垣小学校では、本年度の最重要課題のひとつ、児童の学力向上の実現を目指し、全職員が日々授業改善に向け精進しています。その一環として、本校では一人一実践を行っています。これは、校内授業研究の他に、全員の先生が研究テーマ「自ら考え、ともに学び合う子どもの育成」に沿って、授業を行い参観する中で研究を深めていく取組です。授業をお互いに見合う中で、改善点を出し合い、反省点を次の授業に生かしていきます。

また、若い先生方は、ベテランの先生方から指導技術を学び、それを自分の担任する児童の実態に応じてアレンジし、自己の指導力としていきます。

授業づくりの基本は、教師側が「どのような力を身につけさせるか」「それをどのようにして身につけさせるか」そして、「子ども達にどのように学ばせるか」、この3本柱を明確に持ち授業を仕組むことです。それが、子ども達にとっての「わかった」「できた」が実感できる授業につながっていきます。

里垣小職員は、これからもよりよい授業づくりを目指し研究を進めていきます。



端末を使って観察記録を



学び合う場面を設定して



多様な方法での意見交流



相手に自分の考えを発表する



授業の振り返りを大切に



多くの情報をまとめるには

防災・減災の話し合いを

休み時間に地震が発生したことを想定し、避難訓練を行いました。児童はそれぞれの活動場所から緊急放送を聴き、自分で身を守る行動をとりました。教室、校庭、図書館、体育館、廊下等から第一次避難場所である校庭に静かに素早く避難することができました。

実際に、地震が起きたとき最も重要なことは、自分の命を守る適切な判断ができ、行動がとれるかということです。地震は、いつ起こるかわかりません。登校中か、就寝中か、自宅での食事中か、あるいは友達と外出して遊んでいるときか。夏休み中、南海トラフ地震臨時情報が運用以来初めて発表されました。翌日には関東甲信で最大震度5弱の大きな地震が発生したのは記憶に新しいと思います。学校でも、普段からかけがえのない尊い自分の命を守るにはどうすればいいか、適切な判断・行動をとるための指導をしていきます。ぜひ、ご家庭でも防災について一度お子さんと話をする機会を持っていただきたいと思います。ヘルメットに防災リュックを身につけ、蛍光灯やドアガラスを持って各教室を周り、避難訓練の講評と危険の予測、危険回避の話を児童の実態に合わせて行いました。「備えあれば憂いなし」、成長キーワードの『状況判断力をつけよう』…能登半島地震、教室内の危険箇所探し等、子ども達の真剣な表情から、大人が本気で取り組む姿勢こそ、一番の防災教育・減災につながると考えています。



委員会活動中の保健室では



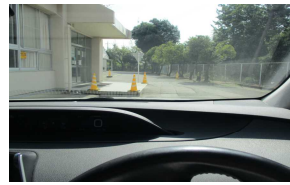
校内放送にしたがって避難



自分で判断して整列



危険回避対策として① 減速用ブロックと標識



車内から見ると



東玄関黄色コーン設置

PTA奉仕作業ありがとうございました

早朝より、多くの保護者の皆様にお集まりいただき、側溝や校舎内、1階の外側窓の清掃を中心に作業にあたっていただきました。夏休み中も技能員さんや教職員で時間を見ては清掃作業をしてきたものの、側溝内や高所の作業までなかなかできずにおりました。



今回の作業のおかげで、校舎内外がとてもきれいになり、2学期の学校生活がスムーズにスタートできました。お休みの日にもかかわらず大勢の保護者の皆様にご参加いただき、大変ありがとうございました。途中、突然の雨に側溝の清掃作業では、ずぶ濡れになりながらの作業となってしまいました。

環境整備を保護者の方々にしていただいたことを、子ども達に話をする中で、多くの方々のサポートがあって「楽しい学校生活」ができるということを伝え、諸活動にも取り組ませているところです。ご協力ありがとうございました。